

意見書案第 5 号

台湾の国連気候変動枠組条約（UNFCCC）への参加を積極的に支援するよう求める意見書

釧路市議会では、これまで日台友好議員連盟の活動を通じて、台湾との相互交流を行っており、友好的な関係を構築してきている。

台湾は国際社会の重要な一員であり、気候変動などの課題解決に対しても、国際組織の総会に会員となって参加することが望まれる。

現在、大気中の温室効果ガスの濃度は上昇し続け、世界の平均気温は史上最高を記録しており、待ったなしの普遍的な対策が求められているが、台湾はグリーンエネルギー技術と科学技術力を有しており、世界が気候変動の脅威とサプライチェーンの再構築に直面している現在において、安全で信頼できるパートナーとなることが期待できる。

令和 4 年の台湾のエネルギー効率は、世界第 8 位であり、再生可能エネルギー発電の比率は約 10% を占めており、台湾は、これまで積み上げてきたグリーン技術の優位性と強みを、国際社会において、環境、医療、公衆衛生、グリーンエネルギーなどの分野で運用し、世界に貢献したいと考えていることから、台湾の経験が気候変動解決策の一助となるよう、UNFCCC が平等な参加機会を与え、気候変動に対処するための国際協力のメカニズムに加えることが重要である。

よって、国においては、早急に台湾の UNFCCC 参加を積極的に支援するよう強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 7 年 3 月 17 日

釧 路 市 議 会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
財務大臣
経済産業大臣
環境大臣
内閣官房長官

宛